

安城の三河万歳保存会が 東京・国立劇場で三河万歳を披露

問▶歴史博物館(☎(77)6655)



【三河万歳】由緒書によると、戦国時代に別所(現在の東別所町・西別所町)の祈祷師が祈祷に加えて物語を語りながら舞ったのがはじまりとされる。江戸時代には三河の万歳師達が、ものごとの繁栄を願うために江戸の武家等を回ったことで、江戸の界隈で「三河万歳」として広く浸透したといわれる。平成7年に国の重要無形民俗文化財に指定された。

新天皇陛下が御即位され、元号が「令和」に変わりました。令和時代がおめでたく、「福」にあふれるようにと、7月27日、国立劇場で「祝福芸」と題した公演が開催され、「安城の三河万歳保存会」が出演。山梨県「一之瀬高橋の春駒」、徳島県「阿波木偶箱まわし」とともに華やかに改元をお祝いしました。

「安城の三河万歳保存会」が、伝統芸能の聖地・国立劇場で三河万歳を披露するのは初めてのこと。鶴や亀等のめでたい言葉をつらね、おもしろおかしく

舞い歌う「神道三河万歳」、七福神がにぎやかに祝う「三河御殿万歳」、江戸時代の「仮名手本忠臣蔵」の一場面を題材に滑稽な言葉や仕草で演じる「三曲万歳」の披露に、客席からは大きな拍手が贈られました。



安城の三河万歳保存会
会長 齊藤雅典さん



始まる前はすごく緊張しましたが、舞台上に立てばいつものように演じることができました。国立劇場という大きな舞台で三河万歳を演じられて大変光栄です。

大きな舞台で緊張しましたが、場所が違うだけという気持ちで演じました。20代の男性もこの舞台で演じ、若い世代への継承を実感しております。



安城の三河万歳保存会
副会長 杉浦重夫さん

「安城の三河万歳後援会」の会員になりませんか

後援会では保存会による各地での実演披露等の普及や後継者育成に関する活動を支援しています。

加入者には特製ハンドタオルを進呈します。

●年会費 普通会员1000円、特別会員3000円以上

●申込み 午前9時～午後5時(休館日を除く)に年会費を持って安城の三河万歳後援会事務局(歴史博物館内)へ

